

保育園の良さ語る普光院さん

豊橋で実施

乳幼児の保護者ら参加し「研修会」

豊橋保育協会母の会連合会(中野依里会長)と豊橋保育協会(中島章裕会長)主催の「研修会」が21日、豊橋市公会堂で開かれた。乳幼児の保護者を中心として、

豊橋保育協会母の会連合会(中野依里会長)らに参加、保育内容などについて理解を深めた。

研修会では中野、中島両会長や来賓あいさつに続き、「保育園



「保育園のちから」について講演する普光院さん＝豊橋市公会堂で

を考える親の会」代表の普光院亜紀さん(保育ジャーナリスト)が、「保育園のちから」と題して講演した。

普光院さんは「子

どもの成長段階を熟知し、段階に合わせた養育をしてくれる」と、親の立場で保育園の良さを紹介。「親の成長も大事。親が保育園を理解すれば、園

も保育がしやすく、子どもにもメリットがある。保護者と園はもちろん、親同士の連携も大切」と説き、保育所保育の内容や学校教育との違い、乳幼

児期の学力などについても説明した。参加者は熱心に聴講、保育園の担う役割の大切さを改めて感じていた。

(田中博子)

21日に豊橋で子育て研修会

豊橋保育協会(会長＝中島章裕・明照保育園園長)および豊橋保育協会母の会



普光院亜紀氏

連合会主催の子育て研修会は21日、豊橋市公会堂で開く。出版社に在職中に育児

休暇を取り2児を育てた、保育園を考える親の会代表の普光院亜紀氏を講師に招き、演題「保育園のちから」について聞く。同名の著書もある。

兄弟が少なく、子どもと母親の関係がますます強まる一方、地域で育てる必要性が叫ばれるなど、子育て事情も変化している。

そうした背景を踏

まえ、子どもが成長するに当たって必要なことや子育てワンポイントアドバイス、保護者へのエールなども含めて聞く。

午前10時から開会式を行い、10時30分から講演。入場無料。託児希望者は事前に協会事務局へ電話0532(51)3069へ。

(山崎祐一)

(東日新聞)